

フジイコー
レーシヨン

「日本でいちばん大切にしたい会社大賞」 審査委員会特別賞を受賞



審査委員会特別賞を受けた表彰式

除雪機・草刈り機等製造販売、鋼材加工販売のフジイコーレーシヨン(本社・新潟県燕市、社長・藤井大介氏)は3月20日、法政大学で行われた「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞(主催・人を大切にする経営学会)表彰式で審査委員会特別賞を受賞した。①不況時でも家族主義経営を徹底し②高齢者が働きやすい工場環境を整備③女性や高齢者、外国人などあらゆる人材を雇用、活用しているダイバーシティ経営が高く評価された。

同社は近年、精神障がい者の雇用にも促進モデル事業」に採択積極的だ。厚労省の「精神障害者等雇用され、現在2人を雇用している。

昨秋に申

請し、書類

審査を通

過、今年に

入りヒアリ

ング、工場審査を受け、

受賞が決まった。県内では4社目。

同社は60歳の定年後、

本人が希望すれば原則70

歳まで勤務可能。最高齢

は79歳の女性で、パート

家族主義経営が高評価

勤務している。長年一緒 工場内では高齢者がつ 台車による作業で工場に働いた仲間を家族同様に歓迎する。機械事業部 通称「ぶどう棚」で吊るし 人々が木造工場の建築も兼ねた。今ではその孫が勤務しているのも家族経営の表れと言える。

継続雇用者に対し、一 年齢者賞受賞)は油圧式で 組立てて工程で使用する 治具台車(創意工夫高

定の地位を確保するため 荷重で少しづつ下がり、 今回の審査委員会特別

シニアアドバイザー制度 製品(除雪機)の足回り 賞を機に「受賞にふさわ

しい内容

の充実にはまだま

だ努力が必要。受

を導入。モチベーション

の維持、向上を目指した。

な姿勢を取らなくて済

満足いただける製品を作

む。加えて足元の油圧式

り続けた。5月には創

ペタルで任意の高さに調

業150周年を迎える。

機本体と前部を組み上げ 進したい」と、社員は声を 承を行つ。

る工程が1人で行える。 承を行つ。